

免疫クラスター

(代表：医学部微生物学・免疫学 吉村昭彦)

免疫系は、臓器を持たないシステムである。全身に分布するマクロファージや樹状細胞などに加え、血管系を循環する様々な白血球、血管系とリンパ系を循環するリンパ球が複雑な相互作用をすることによって機能する。様々な微生物や寄生虫に対する感染防御は免疫系の重要な役割であり、上皮細胞のバリアー機能とともに効率的な免疫系の活性化が感染体の効率の良い排除につながる。一方で、免疫系の不必要な活性化はアレルギーや自己免疫疾患につながり、事実多くの疾患に免疫異常が関わることも良く知られる。従って、免疫研究は生物学としての興味深さや意義深さに加え、疾患の理解や治療法の開発といった側面から社会的意義の高い学問分野である。本クラスターは「信濃町クラスター」の一つであり、下記の研究室から構成される。具体的な研究内容については、各々のホームページを参照していただきたい。興味のある研究室については、ラボツアーに参加して、具体的な研究内容の議論をしたり、設備の見学を行うことができる。また、免疫学関係の様々な講義・セミナーが行われるので、各人の興味とニーズに合わせて受講し、研究能力の向上と基礎力充実に努めて欲しい。さらに、特に希望する場合には、研究室責任者と相談の上、ラボ・ミーティングに参加し、解明すべき目標の設定、それを解決するためのアプローチ、得られたデータの解釈、その後の方針の立て方等、研究者として必要な能力の向上のためのトレーニングを受けることもできる。

キャンパス	所属	研究室責任者	研究室 URL
信濃町	医学部・解剖学	相磯 貞和	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/anatomy/ndd/
信濃町	医学部・微生物学・免疫学	小安 重夫	http://www.koyasu.umin.ne.jp/
信濃町	医学部・微生物学・免疫学	吉村 昭彦	http://www.immunoreg.jp/
信濃町	医学部・先端医科学研究所	河上 裕	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/admedres/index-jp.html
信濃町	医学部・内科学	日比 紀文	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/medicine/index-jp.html
信濃町	医学部・内科学	浅野 浩一郎	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/medicine/pulmonary/index.html
信濃町	医学部・皮膚科学	天谷 雅行	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/derma/index.html
芝共立	薬学部・生化学	笠原 忠	http://www.pha.keio.ac.jp/laboratory/laboratory14/index.html

A) ラボツアー

(薬学研究科の学生は選択必修、医学研究科の学生は希望者のみ)

上記リストのうち、薬学研究科の学生は信濃町キャンパスの研究室のうち1つ以上を各自が選択して研究室見学を行う（医学研究科の学生については、希望者のみとする）。免疫クラスターに配属された学生の中からハウプトを一名選び、見学する研究室を学生間で全体調整した後、代表の学生が各研究室責任者と事前に連絡をとって日時等を決定する（混乱を避けるため、日程調整はグループ単位で行うこと）。

B) 講義・セミナー

信濃町キャンパスで開催される下記の「選択必修講義・セミナー」の中から最低 1 コマ以上受講し、レポートを作成して提出すること。他に、希望があれば、下記の「自由選択講義・セミナー」を聴講することができる。なお、「選択必修講義・セミナー」は主に研究に関する内容を扱うものであり、「自由選択講義・セミナー」は、主に研究の基盤となる教科書的な内容を扱うもの、及び、芝共立キャンパスで開催されるセミナー等である。

1. 免疫クラスター選択必修講義・セミナー

(免疫クラスターに参加している学生は、所属研究科に関わらず、下記のうちから最低 1 コマ以上受講することが必要。今後追加予定であり、下記についても日程等変更の可能性もあるため、最新情報は大学院GPのHPを各自参照のこと。)

1) 「特別セミナー」

信濃町キャンパスで開催される免疫学関係セミナーの中から相応しいものを指定する。下記のほか、大学院 GP の HP に随時掲載するので、各自参照のこと。

4月13日 17時～ 東校舎1F会議室

「Aryl hydrocarbon receptorによる免疫応答制御機構」

木村彰宏

大阪大学大学院生命機能研究科

免疫機能統御学講座（岸本研）助教

2) 「大学院医学特別講義」（信濃町キャンパス）：すべて英語。

月・日・曜日	時間	場所	講義	タイトル	担当者	備考
4月7日(水)	18:00～19:30	孝養舎 405	講義	造血システム（研究のヒント）	須田年生	発生分化生物学
4月13日(火)	14:45～16:45	孝養舎 405	講義	研究者の倫理	相磯貞和	解剖学
4月27日(火)	14:45～16:45	孝養舎 405	講義	Interaction between cancer cells and immune system	河上 裕	先端医化学研究所
5月25日(火)	14:45～16:45	孝養舎 405	講義	サイトカインのシグナル伝達と制御機構	吉村昭彦	微生物学・免疫学
7月27日(火)	14:45～16:45	予防講堂	講義	免疫異常と腸管の炎症	日比紀文	内科学

2. 免疫クラスター自由選択講義・セミナー

(免疫クラスターに参加している学生は聴講可能。今後追加予定であり、下記についても日程等変更の可能性もあるため、最新情報は大学院 GP の HP を各自参照のこと。)

1) 「免疫学・代謝生化学特論」(芝共立キャンパス 3号館5階大学院セミナー室)

※1限目 9:20~10:50 2限目 11:00~12:30

月・日・曜日	時間	講義	タイトル	担当者	備考
6月10日(木)	1限	講義	生体防御の機構、とくに感染免疫とその制御	笠原 忠	生化学
6月17日(木)	1限	講義	アレルギー疾患の成因と制御	笠原 忠	生化学
6月17日(木)	2限	講義	自己免疫疾患の発症機序とその制御	三宅幸子(国立神経研究所免疫研究部)	生化学
6月24日(木)	1限	講義	抗炎症薬の新たな作用の解明と新規薬としての開発;	水島徹(熊本大薬)	生化学
6月24日(木)	2限	講義	分子シャペロンと疾患、分子シャペロン誘導剤の化粧品への応用、ならびにアルツハイマーなどフォールディング病への応用評価	水島徹(熊本大薬)	生化学
7月1日(木)	2限	講義	サイトカインシグナル伝達系の異常と疾患	多胡めぐみ	生化学

C) ラボ・ミーティングへの参加(希望者のみ)

クラスター内で、それぞれの研究室のラボ・ミーティング等に参加を希望する場合は、研究室責任者が承認した範囲内において、事前連絡して守秘義務を負った上で、参加することができる。個人情報等諸般の事情により、研究室責任者が参加を認めないミーティングもありうるので、必ず事前に研究室責任者に直接問い合わせること

1) 信濃町キャンパス

各研究室の連絡先は、前述の各 URL 等を参照。

2) 芝共立キャンパス

生化学講座ラボミーティングは、卒論生、大学院生の抄読会、リサーチセミナーを原則毎週(木)17:00-18:30に行っている。ただし、卒論生の病院実習や日程の変更などがあるので、信濃町からの参加者はあらかじめ問い合わせをすること。